

いわせ ほっとニュース



手術支援ロボット症例シミュレーションの様子

[公立岩瀬病院の基本理念]

患者さん中心の医療を実践し、
地域の皆さんに信頼される病院をめざします。



公立岩瀬病院

<http://www.iwase-hp.jp/>

Contents

- 手術支援ロボット..... 02
- Dr's Cafe..... 03
- マタニティヨガ教室 04
- 病院フェスティバルのお知らせ... 05
- JMAT派遣に対する感謝状..... 05
- 栄養ミニ情報 06



友だち募集中!

LINE 公式アカウント



YouTube
公式チャンネル



Instagram
公式アカウント

ロボット支援内視鏡手術

内視鏡外科部長
齋藤敬弘 医師

最近、ロボット支援内視鏡手術が多くの診療科で進んできております。当院では、2024年に手術支援ロボット『ダヴィンチ Xi』を導入し9月より運用開始を予定しております。

ロボット支援内視鏡手術、通称ロボット手術とは一体どんな手術なのか簡単にお話させていただきます。

腹腔鏡手術は、患者さんのお腹に4～5カ所程度小さな穴を開けて行う手術です。穴から二酸化炭素を送り込みお腹を膨らませて、穴から入れたカメラで映し出したお腹の中の様子をモニターで見ながら鉗子と言われる長い器械を挿入し、医師が直接操作して手術操作を行います。術野が拡大して見えて緻密な操作がしやすいというメリットがあります。

ロボット手術の違いは、鉗子の操作性にあります。内視鏡手術の鉗子はまっすぐなので先端の向きを自由に変えることができません。それに対して、ロボット手術では、鉗子の先端を曲げて操作することができます。それにより狭い空間で、腹腔鏡手術では届かなかった部位に対して適切な角度でアプローチし手術操作が可能になります。また、字のごとく「支援」を医師側が受けることで、先端がブレずに精密な操作が可能になります。実際に鉗子を動かすのはあくまで人間である医師ですが、患者さんのすぐ脇で鉗子を手で動かして行うわけではありません。手術室の少し離れた場所から、モニターを見ながら遠隔で操作を行います。(下の図のように器械は大きく、人間が直接操作することは効率的ではありません。しかし、アシストを行う助手の医師は患者さんの近くに居ます。)

ロボット手術の特性を活かすことで、手術の精密性が向上し、合併症の低減・予後の改善が期待されております。

残念ながら、全ての手術に対して施行可能なわけではございません。詳しい適応については担当医にご相談ください。

ロボット手術のイメージ

左:手術操作を離れたところから行う医師

中央:実際操作する鉗子が患者さんに挿入されている

右:モニターや電気メスなどの機械





産科婦人科医員
菅野美沙医師



子宮頸がん、増えてます

子宮頸がんは日本で年間1万人が罹患し、年間約2,800人が亡くなっています。近年、罹患者数・死亡者数ともに増加しており、若い世代での増加が問題となっています。罹患年齢のピークは30歳代前半であり、このことから子宮頸がんは「マザーキラー」とも呼ばれています。

子宮頸がんの約9割はヒトパピローマウイルス(HPV)感染が原因であり、これは性交渉により感染し、全女性の約8割は生涯のうち一度は感染するとされています。HPVには150以上の型があり、このうち16型・18型などの14種はがんを引き起こす“ハイリスクHPV”と呼ばれます。

HPV感染を防ぐためにはHPVワクチンが有効であり、初めての性交渉を経験する前に接種することが最も有効性が高くなります。現在、日本で承認されているHPVワクチンには2価・4価・9価のワクチンがあり、予防できるHPV型の範囲に違いがあります。いずれも原則、半年間で3回の接種が必要です。

日本では、2013年から8年にわたり、接種後副反応から定期接種を控えていた時期がありましたが、様々な調査を経て、接種後に起こったとされる慢性的な痛みや運動機能の障害はワクチンとの因果関係は明らかでないことが判明し、2022年4月より12～16歳相当を対象とした定期接種の再開と、接種機会を逃した1997年4月～2006年3月生まれの女性を対象としたキャッチアップ接種が開始されました。性交渉の経験がすでにあっても、現時点で感染していない型の予防になり、26歳までに接種することで感染予防効果は高いとされています。

HPVの感染から子宮頸がんの発生までは数年～数十年と考えられており、この間に感染細胞が異常な前がん病変へ変化します。これらの変化は子宮頸がん検診で発見することができます。

- 子宮頸がんは予防/早期発見のできるがんです。HPVワクチン、子宮がん検診ともに当院で実施しています。産科婦人科Instagramでも同様の情報を発信しています。そちらもぜひご覧ください。

公立岩瀬病院産科婦人科 公式 Instagram

地域の女性とそのご家族の健やかな生活を支援できるよう情報提供しています。フォローをお願いします。



マタニティヨガ教室

当院産科婦人科病棟、助産師2名が院内マタニティヨガ教室を始めることになりました。

きっかけは、妊婦さんから「妊娠したら運動はやめなくちゃいけないの?」とご質問を受けたことからでした。現在、県内では専門知識を持つ助産師がマタニティ専門の運動資格を所有し活動をしている施設に数が限られています。



本来、妊娠は病気ではなく喜ばしい事柄にもかかわらず正確な知識を得られないことで運動の機会を失い精神的・身体的なストレスを抱えてしまうのはご本人やお腹の赤ちゃん、ご家族にとっても悲しいことです。

妊娠中の女性は個人差はあるものの、お腹の中で命をはぐくむ時間を重ね「母親」になる準備を行っていきとされています。適切に安全にからだを動かすことで妊娠中におきるマイナートラブル(腰痛・肩こり・便秘等)の予防・改善、そして安産効果(分娩時の呼吸法・開脚・怒責に役立つ)が得られるとされています。そして運動によって得られる体力維持や体重管理は、産後の育児をより自分らしく彩り、産後の乳汁分泌促進は自分が思い描いた育児へのスタートに役立ちます。

女性にとって妊娠・出産の経験は一生忘れられない記憶になります。その大切な経験をヨガを通して見守りたいと思っています。多くの女性が自分らしい妊娠・出産、育児を実現できますよう、少しの勇気をもってマタニティヨガを始めてみませんか?からだの硬さ、ヨガの経験の有無などは気にせず「やってみたい」気持ちだけで十分です。

お気軽に妊婦健診時にスタッフへお声をおかけください。

日時 毎月 第1土曜日 10:00~11:30
(事前予約制・定員5名)

対象 妊娠16週以降 当院通院者で当院
医師より許可のある方

時間 90分
(問診票記入、健康チェック30分+ヨガ60分)

場所 当院南棟3階 支援室

参加費 1回 1,100円

担当者



増子和香子
(マタニティヨガインストラクター)

川崎 歩
(マタニティヨガインストラクター・RYT200)

第17回「病院フェスティバル」開催

令和6年10月12日(土) 10:00~14:00

テーマ 「未来へつなげよう、公立岩瀬病院から地域の輪」

当院では、5年ぶりに病院フェスティバルを開催します。テーマは「未来へつなげよう、公立岩瀬病院から地域の輪」です。

久しぶりの開催となりますが、地域の皆様楽しんでいただけるように、フェスティバル実行委員会を中心に準備を進めております。

今回のフェスティバルでは、例年好評であった健康講座や救急車乗車体験・薬剤師体験など病院ならではのイベントはもちろん、初めてキッチンカーも出店され、地域の小中学生によるパフォーマンスなども予定されております。

小さなお子様からご年配の方まで楽しんでいただけるようなイベントを用意しておりますので、皆様のご来場をお待ちしております。

第17回 未来へつなげよう、公立岩瀬病院から地域の輪
公立岩瀬病院フェスティバル
 2024 10/12(土) 10:00~14:00

タイムスケジュール

- 10:15~10:35
ダンスパフォーマンスによる
お山アワードダンス
- 10:45~11:00
須賀川市立第二中学校合唱部による合唱発表
- 11:20~12:00 (健康講座)
聞いて得する、大腸がんのおはなし
消化器科 片倉 智子 先生
大腸がん外科手術の医療とロボット手術
外科 藤原 久仁 先生

イベント

- 休日(10時)ポップコーンとスタンプラリー
- 救急車乗車体験
- 薬剤師体験
- 血糖値・血圧測定
- 看護学級 英語ガイダンス
- ウルトラマンゆりえ
- チョコレート展覧会
- 香煙展示・体験コーナー

キッチンカーもくるよ!

- 家庭医学情報研究所
- フードキッチン 点心
- chapi chapi
- おかしなオーブ
- フレッシュ
- ドーナツ工房
- フレッシュ
- スノーボード
- 10月12日(土) 10:00~14:00
- じいちゃんとおばあちゃん
- オープン会場

主催/公立岩瀬病院フェスティバル実行委員会
お問い合わせ/TEL(0248)75-3111

当院JMAT派遣に対する感謝状贈呈について

本年1月、能登半島地震発生の際、当院ではJMAT(日本医師会災害医療チーム)派遣要請に基づき、職員4名を派遣したところですが、この度、被災地での医療支援等への貢献に対し、日本医師会から派遣職員へ感謝状が贈呈されました。



8月26日、今泉医師と真船診療放射線技師に対して土屋院長から感謝状が贈呈されました(勤務の都合により、遠藤看護師、内田看護師には後日感謝状の贈呈を行いました。)当院では、これからも地域医療に貢献し、災害時等の支援体制強化に努めてまいります。

栄養と情報



生活習慣病を予防したい方へ

「秋鮭のバター蒸し」

1人分 エネルギー 176kcal 蛋白質 19.0g
脂質 7.6g 炭水化物 5.9g 塩分 0.6g

《材料》	・白ワイン …… 大さじ1 (酒でも可)
・秋鮭切り身 …… 80g	・有塩バター …… 5g
・玉ねぎ …… 30g	・塩 …… 小さじ1/4
①・人参 …… 15g	・こしょう …… 少々
・しめじ …… 30g	・お好みで …… 万能ねぎ・レモン

作り方

- ① しめじは石づきを切って食べやすくほぐし、玉ねぎは薄くスライス、人参は細切りにする。
- ② 広げたクッキングシートまたはアルミホイルの上に①を置いてその上に鮭を乗せる。
鮭の上に白ワインをかけ、塩、こしょうを振りバターを乗せる。
- ③ シートの両端をねじってキャンディー状に包む。
- ④ フライパンに1cm程度水を入れる。
沸騰したら包んだ鮭を入れて、弱火で10分程度加熱する。
- ⑤ 時間が経ったら取り出してシートを広げ、お好みで万能ねぎやレモンを添えて完成。

鮭の色の成分は、アスタキサンチンと呼ばれ病気や老化を予防する抗酸化作用があります。また、中性脂肪を低下させて血液をサラサラにするEPA、脳の機能を活性化させるDHA等が豊富に含まれており、生活習慣病の予防や老化防止に役立ちます。



公立岩瀬病院

【編集・発行】

公立岩瀬病院 広報委員会 (広報誌発行部会)

〒962-8503 福島県須賀川市北町20番地
Tel 0248-75-3111 Fax 0248-73-2417
E-mail koho@iwase-hp.jp

